Enjoy!Golf Enjoy!Golf Enjoy!Golf Enjoy!Golf Enjoy!Golf Enjoy!Golf Enjoy!Golf Enjoy!Golf Enjoy!Golf Enjoy!Golf Enjoy!

ゴルフ 西と東 C・H・アリソンと井上誠一『山田兼道写真企画展』開催中

自然と造形が見事に融合したゴルフコース

名匠の設計美を撮った

ゴルフコース撮影の第一人者、写真家の山田兼道氏による写真企画展「ゴルフ 西と東 C・H・アリソンと井上誠一『山田兼道写真企画展』」が、東京都中央区の資生堂並木通り銀座ビルで開催されている。C・H・アリソン（英国）と井上誠一が設計したゴルフコースの写真（32点）に加え、JGAゴルフミュージアムの貴重なコレクションなども展示されている。（取材構成・渡辺孝敏）

※掲載写真は、川奈ホテルGC富士Cがアリソン設計で、他は井上の設計コース。

川奈ホテルゴルフコース富士コース7番日の出を迎えた川奈7番ホール

↓英国ゴルフの歴史写真や↑ガッタパーチャボールの変遷なども展示

瞬間を待ち続け

幻想的な風景に息をのむ。そして、圧倒される。まずは、メインに配置した写真を見てほしい。アリソンが設計した川奈ホテルGC富士コース（静岡）の7番、遠景に広がる相模灘の朝焼けと、近景に置くフェアウエーの起伏で、絶妙の立体感を表現している。「写真は撮影と光で決まります。ただ、天候などによって、狙い通りの瞬間は、簡単に訪れてくれません」（山田氏）。撮影に適した時間帯を選び、ひたすら待ち続ける。まさか…と思われるかもしれないが、3日間もカメラを構え、ついにシャッターを切るチャンスがなかったこともある。

井上の形成コースは、自然美と造形美が、見事に融合する。象徴的な鳥山城CC本丸コース（栃木）1番は、光と影の対比で、やわらかな曲線美を描き出している。

浮世絵の世界に

いぶすきGC（鹿児島）の7番は、北斎の富嶽三十六景をイメージした一枚で、うねる雲に覆われた開拓が、浮世絵の世界に誘ってくれる。

ゴルフコースとは、こんなにも美しかったのか…。夜明け夕刻にプレーすることがないゴルファーには、そう感じられるに違いない。

会場には、JGAゴルフミュージアムの協力で、英国ゴルフの歴史写真、ガッタパーチャボールの変遷なども展示、陳列されている。つまり、企画展の主題は、「ゴルフ西と東」には、西洋と東洋の文化比較を…という意図が込められている。

山田氏は名匠2人の「遺産」に、新たな生命を吹き込んだ、渾身の撮影で芸術化した写真家の集大成を、左右されるので、狙い通りの瞬間は、簡単に訪れてくれません」（山田氏）。撮影に適した時間帯を選び、ひたすら待ち続ける。まさか…と思われるかもしれないが、3日間もカメラを構え、ついにシャッターを切るチャンスがなかったこともある。

井上の形成コースは、自然美と造形美が、見事に融合する。象徴的な鳥山城CC本丸コース（栃木）1番は、光と影の対比で、やわらかな曲線美を描き出している。

浮世絵の世界に

いぶすきGC（鹿児島）の7番は、北斎の富嶽三十六景をイメージした一枚で、うねる雲に覆われた開拓が、浮世絵の世界に誘ってくれる。

ゴルフコースとは、こんなにも美しかったのか…。夜明け夕刻にプレーすることがないゴルファーには、そう感じられるに違いない。

会場には、JGAゴルフミュージアムの協力で、英国ゴルフの歴史写真、ガッタパーチャボールの変遷なども展示、陳列されている。つまり、企画展の主題は、「ゴルフ西と東」には、西洋と東洋の文化比較を…という意図が込められている。

山田兼道（やまだ・かねみち）

群馬県前橋市生まれ。文化工房・牧田仁氏に師事。74年に東京・青葉台にスタジオを構えて独立し、広告写真を中心に第一線で活躍する。近年は井上誠一設計のゴルフコースを主に撮影し、日本文化の原風景を追求。「新・大地の意匠」「いつかここで井上誠一のゴルフコース」などの写真集を出版して大反響を得た。これらの功績が認められ、ゴルフダイジェストワールド2006殿堂入り。著書に「風の大地」を連載した。（社）日本写真家協会、日本写真芸術学会員、㈱ピップス代表。

写真家

山田兼道氏の芸術ショット

鳥山城カントリークラブ本丸コース1番浮世絵の曲線美を強調して

オープニングレセプション開催

「写真を撮って25年、集大成」

「山田兼道写真企画展」初日の16日、東京・銀座の会場内でオープニングレセプションが開催された。山田氏は冒頭のあいさつで「今年で25年という時間は長いですが、実感はないです。最高の環境で、集大成の写真ができることをうれしく思います」などと謝辞を述べた。さらに、〝お願い〟として「ゴルフ場に行ったらコースに許可を取って、コースを敬愛してほしい。遵った意味でゴルフを楽しめると思います」と話した。

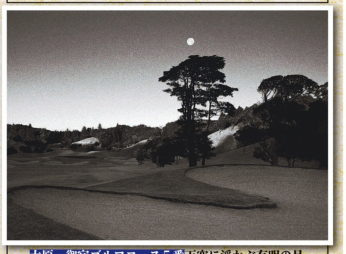
写真を撮って25年、振り返ってみると、25年という時間は長いですが、実感はないです。最高の環境で、集大成の写真ができることをうれしく思います」などと謝辞を述べた。さらに、〝お願い〟として「ゴルフ場に行ったらコースに許可を取って、コースを敬愛してほしい。遵った意味でゴルフを楽しめると思います」と話した。

ゴルフ西と東　C・H・アリソンと井上誠一「山田兼道写真企画展」

★主催　（株）ピップス
★会場　資生堂並木通り銀座ビル2F（東京都中央区銀座7の5の5）
★アクセス　①東京メトロ銀座駅B6出口から徒歩4分②JR新橋駅銀座口から徒歩5分
★展示内容　アリソンと井上の設計コース写真が32点。特別企画として、2人のコース設計図（原図）など、JGAゴルフミュージアムの秘蔵コレクションも展示されている。
★開催期間　今月30日まで（平日の10時～17時　※土、日曜日は休館）

◆写真入手との方法　同企画展では写真集などの販売は行っていない。購入希望の場合は企画展終了後、（株）ピップス（電話03・3476・3080）に問い合わせてください。なお、ご要望に添えない場合もあります。

大原・御宿ゴルフコース5番大空に浮かぶ有明の月



札幌ゴルフ倶楽部　山仁コース2番夜明け前の北の大地

いぶすきゴルフクラブ7番北斎のイメージを求めて

鷹之台カンツリー倶楽部5番モヤが下りた厳冬の朝景色

▼チャールズ・ヒュー・アリソン（1882～1952年）　英ランカシャー生まれ。オックスフォード大時代はゴルフ&フットボール選手として活躍。1928年にハリー・コルトとともにゴルフコース設計事務所を開設。30年4月半で廣野GC兵庫などの4つのゴルフ場も設計した。特徴的な〝アリソン・バンカー〟が残っている。

▼井上誠一（1908～1981年）　井上眼科院長の長男に生まれ、旧制高校在学中に大病を患った。休学して療養中の30年に東京帝大（東京都千代田区）2代目院長の目に留まり、同大学